

マンゴー（果樹類の登録農薬も使用できる）

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期（日数）	使用回数	炭疽病	灰色かび病	うどんこ病	軸腐病	かいよう病	枝枯細菌病	ゆけい促進
I Cボルドー66DFL	M1		-	-					◎		
バチスター水	BM2		*a	-		◎		◎			
ボトキラー水	BM2		*b	-		◎					
マスタピース水	NC		1	-					◎	◎	
アミスター10FL	11		1	1	◎						
ストロビーDF	11		1	3	◎						
フルピカFL	9		14	3		◎					
セイビアーFL20	12		1	3	◎						
スミレックス水	2		21	3				◎			
ロブラール水	2		7	3		◎					
トリフミン水	3		7	3			◎				
バッチレート塗	M1		*c	1							◎
ジマンダイセン水	M3		45	2	◎						
ペンコゼブ水	M3		45	2	◎						
マンゼート水	M3		45	2	◎						
オーソサイド水80	M4		7	3	◎						
ベルクート水	M7		14	2	◎						

*a:発病前～発病初期

*b:開花期～幼果期

*c:剪定時及び病患部削り取り直後

マンゴー（果樹類の登録農薬も使用できる）

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 （日 数）	使 用 回 数	ア ザ ミ ウ マ 類	チ ャ ノ キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	カ イ ガ ラ ム シ 類	コ ナ カ イ ガ ラ ム シ 類	ス カ シ バ 類	ド ク ガ 類	ハ マ キ ム シ 類	カ ミ キ リ ム シ 類	ハ ダ ニ 類	チ ャ ノ ホ コ リ ダ ニ
スピノエース顆水	5		3	2		◎								
アタックオイル	UNM		*a	－									◎	
スピンドロン乳	UNM		*b	－									◎	
スプレーオイル	UNM		*c	－									◎	
ハーベストオイル	UNM		*g	－									◎	
スワルスキープラス	－		*f	－		施								
パイレーツ粒	－		*d	－		◎								
マイコタール	－		*i	－		施								
キラップFL	2B		7	2		◎								
アーデント水	3A		3	2		◎	◎							
トレボン乳	3A		7	3		◎	◎							
ロディー乳	3A	劇	14	2		◎								
ロビンフッドエアゾル	3A		1	5					◎			◎		
アクタラ顆溶	4A		14	2		◎	○							
アドマイヤー顆水	4A	劇	14	2		◎	○							
アルバリン顆溶														
スタークル顆溶	4A		1	3		◎								
ダントツ溶	4A		7	3		◎	○		◎					
ベストガード溶	4A		7	2		◎								
モスピラン顆溶	4A	劇	35	3		◎	○	◎	○					
トランスフォームFL	4C		3	3			◎							
ディアナWDG	5		1	2		◎								
デリゲートWDG	5		1	2		◎								
コルト顆水	9B		1	3		◎								
バロックFL	10B		7	2									◎	
コテツFL	13	劇	14	2		◎								
カスケード乳	15		3	2		◎								
アブロードFL	16		3	2			幼	幼						◎
ロムダンFL	18		21	2						◎	◎			
カネマイトFL	20B		7	1									◎	
マイトコーネFL	20D		7	1									◎	
サンマイト水	21A	劇	30	2									◎	◎
ピラニカ水	21A	劇	14	1									◎	
エクシレルSE	28		7	2		◎								
ウララ50DF	29		7	2		◎								
ファインセーブFL	34	劇	1	2		◎	○							

*a:緑枝硬化期～出蕾期

*b:収穫後～幼果期

*c:10月～3月

*d:発生前～発生初期

*f:発生直前～発生初期

*g:収穫後～萌芽前

*i:発生初期

施:施設栽培 幼:幼虫

マンゴー（果樹類の登録農薬も使用できる）

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
炭疽病	生育期	1. 雨よけ栽培を行う。 2. 病果、病葉、病枝を除去する。 3. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル 1000倍 オーソサイド水和剤80 600倍 ジマンダイセン水和剤 800倍 ストロビードライフロアブル 2000倍	病原菌は多犯性菌で多くの植物に炭疽病を起こす。
灰色かび病	生育期	1. 施設では過湿に注意する。 2. 罹病した茎葉や果実はただちに処分する。 3. 発生を見たら次の薬剤を散布する。 ロブラール水和剤 1000倍	
かいよう病	生育期	1. 雨よけ栽培を行う。 2. 病果、病葉、病枝を除去する。 3. 台風や大雨の前後に次の薬剤を予防的に散布する。 ICボルドー66D (FL) 40～50倍	病原細菌は強い風雨などにより生じた傷より侵入する。
アザミウマ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤー顆粒水和剤 5000～10000倍 エクシレルSE 2000倍	
チャノホコリダニおよびハダニ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンマイル水和剤 1000～1500倍	